

日本文化学部主催「公開シンポジウム 世界展開する海外日本研究者に学ぶ」を開催しました

11月20日、日本文化学部が主催。スペイン・マドリードの国立歴史文書館で新たに日本関係の外交文書を発掘し、17世紀以来途絶していた日本スペインの交流史を、幕末維新以降の近代史の過程で捉えなおそうとした内容でした。

この時代の日本スペイン関係史は研究上の盲点となっていただけに、今後の調査研究が期待される分野です。

なお、中日新聞12月7日朝刊の文化欄に、講演した協定大学スペイン・CEUサンパブロ大学カルロス教授による講演内容が詳細に紹介されています。



(講演の様子)